

## 名城信夫選手の葛藤

### －他者を思いやる人間のすばらしさ－

- 1 学 年 第9学年〔後期〕  
 2 主題名 他者を思いやる心〔2－(2)〕  
 3 ねらい 対戦相手の死という厳しい現実を乗り越えていく一人のプロボクサーの生き方を本人を取り巻く周囲の人々との関わりから考えていくことで、他者を思いやり互いに支え合って生きる人間のすばらしさに気付き、他者を思いやる心情を育てる。  
 4 資料名 「名城信夫選手の葛藤」  
 5 展 開

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 好きなスポーツや格闘技を 発表する。 ○ あなたの好きなスポーツ・ 格闘技は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球</li> <li>・サッカー</li> <li>・K1</li> <li>・柔道</li> <li>・ボクシング</li> </ul>	○ 自由に好きな種目 をあげさせる。簡単 に好きな理由も言わ せる。
展 開	2 資料「名城信夫選手の葛藤」 を読んで考える。 《資料①配付》 ○ 敗れた田中選手の「やっぱ、 お前、強かったわ。ありがと う。」にはどんな気持ちが込 められていたのでしょうか。  《資料②配付布》 ○ あなたが名城選手なら今後 ボクシングを続けますか。  ○ 田中選手の奥さんは、今後 どうしてほしいと思うでしょ う。 ○ 田中選手は、今後どうして ほしいと思うでしょう。 ○ 名城選手のトレーナーは、 どうしてほしいと思うでしょ う。  《資料③配付》 ◎ 田中選手の墓前にチャンピ オンベルトを掲げて名城選手 はどんなことを告げたのでし ょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分もベストを尽くして 闘ったから悔いはない。</li> <li>・ 敗れたけれどすばらしい 試合ができてうれしかった。</li> <li>・ これからは、自分の分も 頑張してほしい。</li> <li>・ なくなった田中選手に恥 じないボクサーになる。</li> <li>・ 相手の思いを背負って闘 い続ける義務がある。</li> <li>・ 怖くて思い切りパンチが 出せないと思う。</li> <li>・ 夫の分まで頑張ってい たい。</li> <li>・ 名城選手の活躍する姿を 見るのはつらい。</li> <li>・ 自分の分まで頑張って世 界をめざしてほしい。</li> <li>・ 続けてほしいけれど、本 人の気持ちを尊重するしか ない。</li> <li>・ 試合後の田中さんの言葉 のおかげでボクシングを続 けることができます。 ありがとうございました。</li> <li>・ これは自分と田中さんの 2人で取ったベルトです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを明確 にさせるために、ネ ームプレートを活用 する。</li> <li>○ 登場人物の様々な 立場から考えさせる ために、4種類のワ ークシートを活用す る。</li> <li>○ 色々な立場で考え た意見を交流するこ とで、一人の選手を 取り巻いて様々な人 々が思いを巡らせて いることに気付かせ る。</li> <li>○ 亡くなった人に思 いを告げるというこ とは人間だけに出来 ること。その意味を 深く考えさせる。</li> </ul>
終 末	3 名城選手に関する教師の説 話を聞く。		○ 世界タイトルをと った後の名城選手の 言葉を紹介する。

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

人間愛の精神は、互いの存在を、肯定的に受け止めようとする思いが普遍化されたものである。それは人間を尊重する精神、生命に対する畏敬の念に基づく人間理解を基盤として、他の人に対する思いやりの心を通して具現化される。

人は生きていく上で、様々な困難に出会ったり予期せぬ出来事に打ちのめされひどく落ち込んでしまったりすることがある。そのような困難な状況にある人を思いやり、いたわり、励まし等は、決して哀れみや同情ではなく、生命の尊重や人間に対する深い理解を根拠とした人間らしい行為である。

中学生の時期はこのようすばらしい人間愛に素直に感動する感性が強まってくる時期である反面、つい自己中心的な言動に陥りやすい時期でもある。様々な学習を通して人間愛を大切に、他者を思いやる心情を育てたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 活用時期

本授業は、中心項目である「人間愛 2－(2)」以外にも、「強い意志 1－(2)」「理想の実現 1－(4)」「友情 2－(3)」「感謝 2－(6)」「生命の尊厳 3－(1)」「生きる喜び 3－(3)」など、様々な価値項目を内在している。したがって、義務教育9年間の道徳教育のまとめの段階である9年生で実施することが望ましい。

#### イ 中心場面

本資料は、主人公が非常に厳しい現実と直面し悩み苦しむ場面で終わっている。その苦しい状況にどう向き合い、それをどう克服していくのかを考えさせることが授業の大きな柱となっている。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア ワークシートの工夫

様々な異なる立場から考えた意見を交流していくことが、他者を思いやるすばらしさに気付くことにつながる。そのために、ワークシートに示された立場に立ち、自分の意見をワークシートに書き、そのことを基に意見交流をさせたい。

#### イ ネームプレートの活用

意見交流の活性化を図るため、ネームプレート等を活用し、お互いの立場を明確にさせるとよい。また、ネームプレートを生かした効果的で分かりやすい板書にも心掛けたい。

### (4) 参考資料

ア 朝日新聞（平成18年7月23日）

イ 中国新聞（平成18年7月23日）

ウ ボクシングマガジン（ベースボールマガジン社・平成18年9月号No471）

（吉浦中学校 平田洋一）